

## 今後の進め方

市は、計画（案）について、広報紙（本紙）や、自治協議会などで情報提供・意見聴取を行います。

みなさんのご意見をふまえ、市で「坂井輪地域実行計画」が策定されます。

計画の実施（施設整備など）は、引き続き、地域のみなさんや施設の利用者などに意見聴取を行いながら進められます。

### 現在地はここです



計画(案)について、意見を募集しています!

また、自治会や各団体などに、

ご希望に応じて個別説明を行います!

ご意見や、説明のご希望は5月10日(金)まで!

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画  
コミュニケーション事務局  
(西区地域課・財務部財産活用課)

郵便 〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話 025-264-7161

FAX 025-269-1650

メール chiiki.w@city.niigata.lg.jp

WSで配布した資料は、  
市HPに掲載しています。  
ご意見をお寄せください!

「やわ姐」  
やわ肌ねぎの  
イメージキャラクター



<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/ws.html>

## 新潟市

## 財産経営NEWS

## 広報紙 第5号

<発行者>  
地域別実行計画  
コミュニケーション事務局  
◆西区地域課  
Tel.025-264-7161  
◆財務部財産活用課  
Tel.025-226-2387  
(平成31年4月発行)

## 一緒に考えませんか?

# 坂井輪地域のまちづくり

～公共施設のこれから～

ワークショップをはじめ、「本広報紙」、「コミュニティ会議」、「パネル型展示説明会」で得られたみなさんのご意見をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「坂井輪地域実行計画（案）」が作成されました。ぜひ紙面をご覧ください、ご意見をお寄せください!

## 公共施設のあり方について、検討を重ねてきました。

坂井輪地域のつばさ新通小学校整備に伴い、現新通小学校に生じる空き教室の活用や保育園、児童館などの公共施設のあり方について、地域のみなさんと市がともに考えるワークショップ（WS）を昨年9月から1月までに計3回開催されました。

ワークショップは、コミ協、自治会関係者、地域活動団体、PTA、保育園・児童館利用者、地域教育コーディネーター、社会福祉協議会、公募による参加者などから構成され、地域の公共施設について熱心な議論がされました。

ワークショップをはじめ、広報紙・コミュニティ会議・パネル展示型説明会で得られたご意見を検討に反映させ、「坂井輪地域実行計画（案）」が作成されました。

### 現在、ここまで進んでいます!



【背景】

坂井輪地域では、新通小学校の分離新設校（新通つばさ小学校）の整備をきっかけとして、実行計画の検討に着手し、平成30年9月から翌年1月までの全3回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

この見開きのページが計画の案です  
この内容について、ご意見をお寄せください

【再編の実施時期】

新通ひまわりクラブの新通小学校校舎内移転や新通ひまわりクラブ第1の学校転用は、新通つばさ小学校開校後に整備を行います。また、児童館機能の全市的なあり方検討を踏まえた坂井輪児童館の方針検討は短期的に、坂井保育園の民営化は中期的に取り組みます。

今後の詳細検討や財政状況などにより、再編時期や内容については適宜見直しを行います。

公共施設の再編計画

【コンセプト】 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【施設の概要】

- 新通ひまわりクラブ第1、2、3を新通小余裕教室に移転
- 新通ひまわりクラブ第1の移転後は、施設を学校として活用  
新通ひまわりクラブ第2、3は解体し、借地解消
- 坂井保育園の民営化として、民間保育園を適地に誘致
- 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存の他施設で確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【効果】

- 新通ひまわりクラブ第1、2、3が、校舎内に移転され、安全面が強化
- 学校と地域との交流の場、学校開放に準じた地域利用により、地域の活性化や多世代共生・交流につながる
- 民間活力導入によるコスト削減により財政負担が軽減、休日保育などサービス拡充の可能性が期待される
- 利用の年齢制限がある高齢者の交流機能を公民館等に移転することで多世代交流が期待される

【今後、方針を決定する施設】

- 坂井輪児童館は、全市的に今後の児童館機能のあり方を検討したうえで、方針を決定

【WSなどの意見】

- 民営化、公民館・健康センター移転
- 子育て相談機能の維持など

短期的に再編を実施する施設の方針及びスケジュール

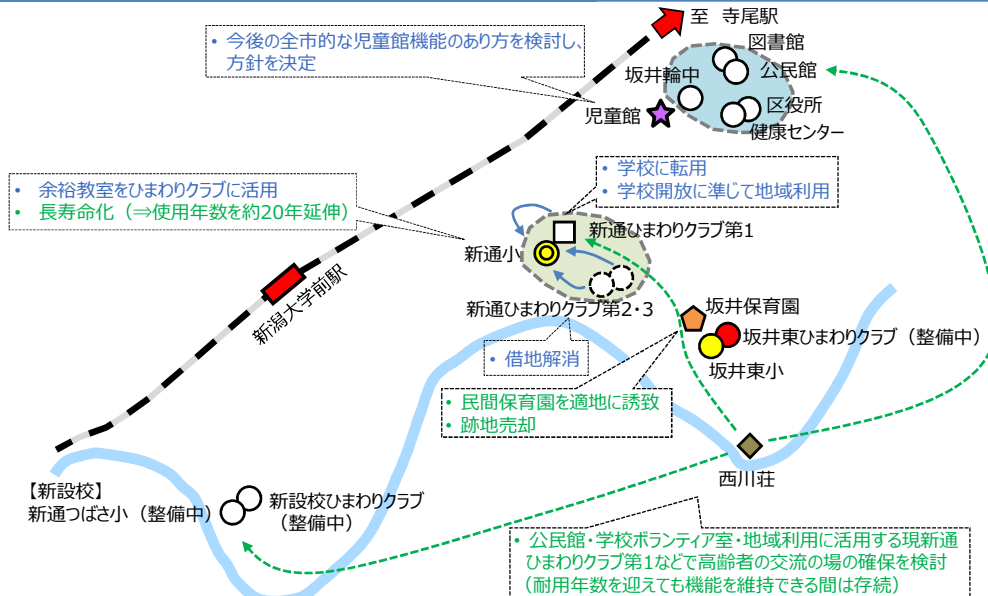
施設名	方針	年度				
		2019	2020	2021	2022	2023
新通小学校	教室の一部をひまわりクラブに転用	ひまわりクラブ転用検討	設計（新設校開校）	工事後、ひまわりクラブに転用	→	→
新通ひまわりクラブ第1	余裕教室へ移転 学校・地域利用			移転後、 学校・地域利用	→	→
新通ひまわりクラブ第2	余裕教室へ移転			移 転	解 体 借地解消	
新通ひまわりクラブ第3	余裕教室へ移転			移 転	解 体 借地解消	
坂井輪児童館	継続検討	全市的視点による検討	方針決定	対策実施	→	→

中期的に再編を実施する施設の方針

坂井保育園	民営化	概ね10年後の民間保育園誘致に向けて、概ね5年後までに具体的なスケジュールを決定
-------	-----	--

その他の施設の方針

新通小学校 坂井東小学校	存 続	学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、適切な時期に改めて地域と共に検討
坂井輪中学校	存 続	概ね20年後の施設の更新時期に合わせて、長寿命化や図書館・公民館との複合化などについて、適切な時期に改めて検討
公民館・図書館	存 続	概ね20年後の施設の更新時期に合わせて、長寿命化や中学校との複合化などについて、適切な時期に改めて検討
健康センター	存 続	
区役所	存 続	
西川荘	機能移転	高齢者の交流の場としての機能を既存の他施設で確保を検討（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）
坂井東ひまわりクラブ	存 続	



凡例

- 短期的取組（～5年程度）
- 中期的取組（10年程度）
- ◎ 複合化・多機能化
- 用途転用
- ◇ 将来 売却・貸付
- 存続
- ⊙ 解体
- ◡ 民営化
- ☆ 継続検討

【今後の進め方】

- 計画を実施するにあたって下記事項に配慮しながら再編を進めます。
- 高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場
  - 運営面の工夫などにより、施設の複数用途での利用
  - 駐車場の確保
  - 身近な自治会館や空き家の有効活用